

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちわ。もうすぐ四月ですが、まだまだ花冷えの日もあります。くれぐれもご自愛ください。

## ★ホリエモン騒動

ホリエモンこと堀江社長のライブドアと、日枝カイチョーひきいるフジテレビによるニッポン放送の買収合戦が賑やかですね。でも、「難しくても、わからんわ」とお感じの方も多いことと思います。どういうことでしょうか。

結論を先に申し上げれば、「どっちもどっち」です。ホリエモンの問題はふたつ。ひとつは、ニッポン放送の株を時間外取引という手法で手に入れたこと、もうひとつは、ライブドアという会社が、株式分割という手品のような手法で資金力をつけてきたことです。もつとも、両方とも今の法律の下では、違法ではありません。但し、企業倫理的な是非は別問題です。

一方、日枝カイチョーの問

題点はたくさんありますが、とりあえずふたつご紹介します。細かいことは申し上げませんが、ひとつは、ニッポン放送株の公開買付(TOB)の最中に目標を変えたことです。公開買付というのは、「いくらで、どれぐらい、いつまで、買いますよ」ということを約束することですが、その期限がくる前に、「どのぐらい」という目標を一方的に変えました。要は、約束を破ったということなんです。

もうひとつは、ニッポン放送が日枝カイチョーだけに新株予約権というプレゼントを約束したことです。専門家の話によれば、今の法律の下では、両方とも違法だという見方が多いようです。

このかわら版を読んで頂いている頃には、新株予約権発行の是非について、東京地裁のとりあえずの判断が示されていることと思いますが、皆さんはどのようにお考えでしょうか。

## ★奇っ怪! 金融庁、法務省

「どっちもどっち」のこの騒動。しかし、金融庁、法務省は日枝カイチョー寄りの姿勢を示しています。しかも、驚くべきスピードで迅速に対応しています。その一方で、オレオレ詐欺、インターネットによる詐欺請求、偽造カード事件など、ずいぶん前から指摘されている問題にも極めてユックリ対応してきました。この差は何でしょうか。奇っ怪ですね。どういう基準で対応を変えているのか、国会でよく聞いてみたいと思います。



